

北の スポボラ

スポーツをする楽しみ
見る楽しみ
支える楽しみ

発行 / 認定NPO法人 ランナーズサポート北海道



試合後にドームから帰る観客をハイタッチで見送るボランティア

札幌でボランティア600人が活躍 -ラグビーW杯

「ワンチーム」「にわかファン」。ラグビーワールドカップ日本大会は、日本代表チームの大活躍もあって、スポーツ界のみならず2019年の日本中の注目を集めました。

札幌でも2日間にわたってオーストラリアとフィジー、イングランドとトンガの試合が行われ、試合会場の札幌ドームやパブリックビューイング会場（ファンゾーン）の大通公園2丁目広場をはじめとして、各国の応援団が札幌の街中で大いに盛り上がったことが記憶にあたりしいところです。

そして大会には全国で3万人のボランティアが応募し、1万人が大会の成功を支えました。札幌で活動したのは約600人。札幌ドームではシャトルバスターミナルでの乗降場案内、ドーム内での誘導スタッフ、入場ゲ-

ートのサポート、ファンゾーンでは入場口や会場内のインフォメーション、JR札幌駅や地下鉄駅での案内や切符購入のサポートなど幅広い内容で、海外からの観客を歓迎し、思い出に残る交流が行われました。

(4面に続く)

目次

- オリンピックのマラソンが札幌で ②
- 北海道マラソン今年は中止 ③